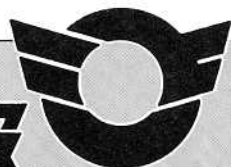




保育園からこんにちは
 おとうさんとおかあさんの絵
 しまくらまさし君(6歳) 上親田
 神土保育園



No. 329 63/6

広報 ひがししらかわ

発行 東白川村 編集 東白川村企画課 〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ☎05747>8-3111・内線31 印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限公司

どう育てるか これからの農業

いつのまにか、ほ場整備の
 終わった面積が64%にもなり
 ました。機械力で行う水田の
 作業が今年はのべ150haに
 達しそうです。

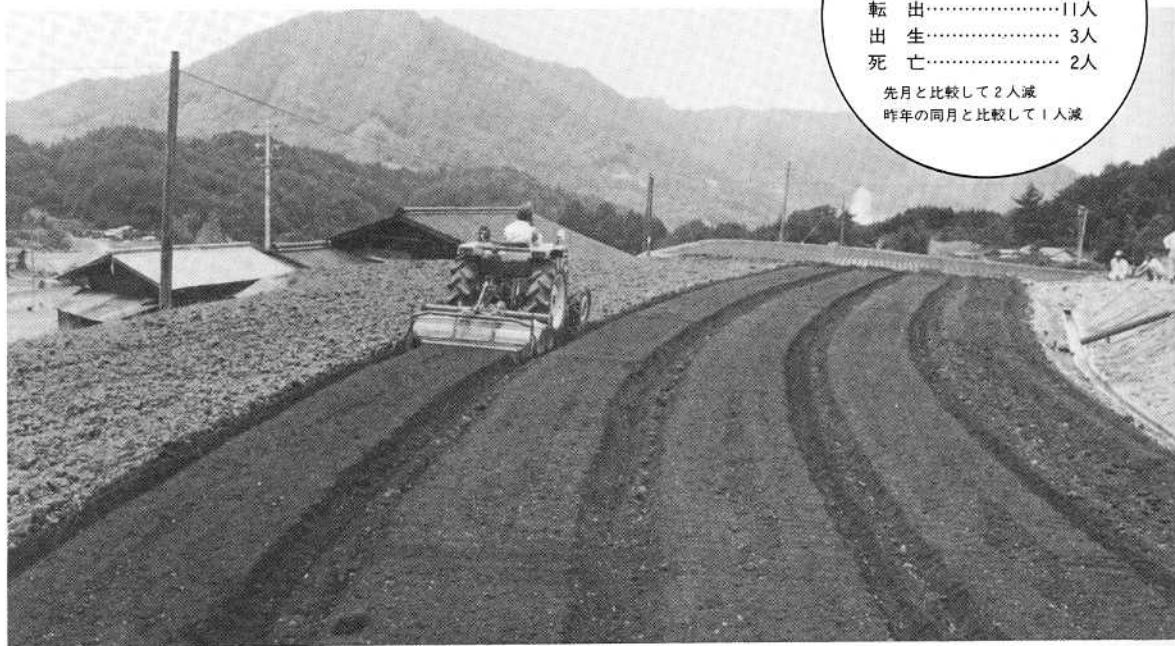
新しい特産のトマトの作付
 は3haを越えました。その品
 種名が「桃太郎」力のこもつ
 たいい名前です。



▲トマトの葉色で健康診断

人口の動き

—5月末住民登録人口から—
 世帯数……………922世帯
 人口……………3,564人
 転入……………8人
 転出……………11人
 出生……………3人
 死亡……………2人
 先月と比較して2人減
 昨年の同月と比較して1人減



▲大豆のベッド(作付床)をつくるトラクター。美しい曲線は新しい農業の姿か……(大明神にて)

長良川のほとりで はじ が弾ける!

と日本一広場イベントの内容



未来博まであと二十三日（六月十五日現在）、乗鞍山頂で太陽光線から採火された「ふれあいの炎」が、長良川畔へ到着し、未来博の幕が開きます。そして、八月五日は東白川村の日です。シンセサイザーが高らかに東白川村の心意気をうたいます。

岐阜県の活性化の起爆剤として、総力をあげてとり組んで来た未来博、ようやく練習に熱のこもってきた東白川の日イベント「東白川讃歌」の内容をお知らせし、併せて博覧会推進本部長、梶原副知事のメッセージをご紹介します。

これからが本番 未来博にご協力を

岐阜県博覧会推進本部長 岐阜県副知事 梶原 拓
博覧会構想が生れた昭和五十七年から五年、待ちに待った未来博88がまさしく目前に迫り、七月八日の開幕に向けて、いよいよラストスパートの段階を迎えました。
月を追うごとに、日を追うごとに岐阜市長良川畔の二十三ヘクタールの会場は、建設のつち音が高くなってきました。また、県内のまちやむらでも「県土まるごとパビリオン」の旗印のもと、全国から訪れるお客様を迎える準備に熱がこもってきてい

第1部・みどりの里

いよいよ「東白川讃歌」の開幕です。シンセサイザーの音にかぶさるように太鼓の乱打ちが、そしてドラムがテンポを刻んで東白川村民の歌「みどりの里」が始まります。そして、かじか合唱団と応援の高校生合せて二十四名の声の聞かせどころ「夏は来ぬ」などのコーラスをバックに

ゆかいな親子が登場して、会話の中で東白川村が紹介されます。コーラスは日本の四季を表現したものが次つぎと流れ、若い人たちのバンドとシンセサイザー、エレキトーンがメロディをかなでる中で、「東白川讃歌」を作曲した東白川出身の作曲家 藤掛広幸さんの紹介も行われます。

会場のビデオには東白川の自然が写し出され開幕をかがります。



三味線



エレキバンド

第一部、みどりの里が終ると、客席の中から鳥追い姿の女性が三味線を抱き、新内を弾きながらあらわれます。ステージではそれに合せて三味線クラブ26名が登場し、席に着きます。この中には三味線を習っている六人の小学生も含まれており、きつと会場の人気者となるでしょう。

さて、かけあい三味線のはが聞こえ、しだいに笛と三味線のかけ合いに変わってきます。

じまりです。最初三人、四人、そして全員で三味線のかけ合いが続き大スピーカーで増幅された糸の音が会場を圧倒するでしょう。

と、思ううちに、檜茶太鼓のメンバー二人三人が太鼓を打ちはじめ、三味線と、笛と、太鼓のかけ合いが軽妙に繰り広げられ、しばらくの間三種類の和楽器の演奏が会場を魅了することでしょう。
一転してシンセサイザーの重々しい音とともに、エレキバンド、も加わったバック音楽の中に、おじいさんが一人、ステージに登場して来ました……



民謡教室

八月五日午後三時三十分、東白川村のアピールの始まりです。

第2部・かけあい三味線

東白川村議会 議長に今井氏・副議長に古田氏が就任

五月十日に開かれた東白川村議会臨時会で、私約交替によって議会役職の改選が行われました。

二期二年間議長を務められた田口哲彦氏のあとを継いで、今井啓市氏が就任されました。



議長 今井啓市氏

議長就任のごあいさつ

このたび、はからずも議長の
大役を務めさせていただくこと
になりました。

議会の最大の役割りは、住民の皆さんの気持ちを最大限に行政に反映することだと考えます。白川加子母線の早期改良、地場産業の振興などの切実な願いの実現と併せて、美しい白川の保全や、立村百年を契機に新しい東白川村のイメージアップを図るなど、巾広くキメ細く、そして円満な議会運営に全力を尽します。よろしくお願いします。

職名	議席	氏名	備考
議長	4	今井啓市	
副議長	7	古田眞之助	加子母東白川学校給食組合議員 議会報編集委員
総務常任委員会	委員長	安江久夫	加子母東白川学校給食組合議員
	副委員長	安江 誉	議会報編集委員
	委員	田口迪夫	議会選出監査委員
	委員	今井啓市	
民生教育常任委員会	委員長	村雲利彦	加子母東白川学校給食組合議員
	副委員長	熊澤 健	
	委員	古田 保	議会報編集委員
	委員	大坪 信也	
建設産業常任委員会	委員長	安江兼辰	
	副委員長	村雲直樹	議会報編集委員
	委員	古田眞之助	
	委員	田口哲彦	加子母東白川学校給食組合議員

東白川村議会構成 昭63・5・10現在

株式会社東白川は、企業誘致のために設立された第三セクターと呼ばれる法人で、昭和六十一年九月に設立されてから一年八か月が過ぎました。このほど開かれた株主総会で、設立当初の役員が大きな成果をのこして退任し、新しい役員が選任されました。

急成長の岐阜部品

前社長安江多策氏の多大の努力によって実現した企業誘致は、第三セクター方式という今までに無いユニークな方法が成功し、この第三セクターである株式会社東白川が建設した工場を、賃貸借契約で利用するという型で出発した岐阜部品株式会社は、すばらしい勢いで急成長を続けています。

現在、金山町、付知町などに千坪以上の分工場を新築中で、東白川村の本社工場を頂上に県下十三か町村に分工場を配置し、当初計画の年商三十億円をわずか一年に満たな

代表取締役社長	桂川 眞 郷
取 締 役	安江 公 平
"	今井 啓 市
"	古田 眞之助
監 査 役	古田 敬 司
"	田 口 迪 夫

い期間に倍近くも上廻る実績をあげました。

この実績を背景に、株式会社東白川との契約も計画どおりに行われております。

第三セクターの運営はもとより、企業誘致そのものの成果を背負ってきた設立当初の役員も岐阜部品の立派な成長を見届けて、その大任を果たし、五月十日開催の総会で、バトンタッチをすることになったわけですが、

新役員は別表のとおりですが、議会議員の皆さんが「株式会社東白川運営協議会委員」として運営に参画することになっていきます。

企業誘致の大役を果たし 株式会社東白川の役員交替



帰えろかな.....

遠いふるさとへ

片道約800km以上の
里帰り旅費に村費補助

宮崎へ里帰り、おばあちゃんほく大きくなったでしょ：内木尚子さん(黒淵)

東方面

800
km

岩手県
一ノ関より北

JR 白川口

西
方面
800km

福岡県
博多より南

ユニークな制度に里ではビックリ!!

黒淵の内木逸介さん方のお嫁さん尚子さんは、九州宮崎から来てみえます。

六十一年の里帰りの時、その年からスタートした「里帰り旅費助成事業」によって、村から補助金が出ると話したら、里のお母さん「お前こんなよかことしてくれるとはほかにねいよ、よかとこへ嫁に行ったね」とびっくりしながら喜んでくれました。

この制度が始って二年、今までの利用者は九州へ七件、岩手県へ一件となっていますが、村内には北海道出身をはじめ、対象となる人はまだほかにもあります。

おそらく、全国にも例の無いこの「おもしろい補助」で、くこの両親に、元気な孫の顔などみやげにして、あたたかい交流を深めてもらいたいものです。



里の家族と元気な対面 / おじいちゃんのおひざあつたかーい・福岡にて。今井保都さん(大浜)

手続きは簡単

民生課が窓口

この里帰り助成は六十一年四月から村の事業として行っているもので、九州・東北などの遠い地方から結婚等により村の住民となられた方に対して、少しでも里帰りの負担を軽くしてあげ、里のご家族に東白川村で元気にやっている姿をお見せするとお手伝いとして、里帰りするときの旅費の一部を助成しているものです。



北海道への里帰りにはずび利用を、とうれしそうな安江琴美さん(日向)

助成の対象は、JR高山線白川口駅を起点に鉄道の普通旅客運賃が片道一万円を超えるところへ里帰りする場合です。助成金は一万円ですが、里帰り先が北海道または沖繩県の場合は一万五千元を助成しています。

片道一万円の旅客運賃を距離に置き替えてみると約八百キロメートルになります。これを地理的に見ると、白川口駅より西方面は福岡県博多市より南、東方面は岩手県一ノ関より北が助成の対象ということになります。これはあくまでも目安ですので、助成対象になるかの判断は役場民生課住民係有線二一六二までお問い合せください。

助成の手続きは、申請書に乗車券など里帰りを証明する書面を添付して役場へ出して下さい。里帰りの理由については制限はありません。また、一年に何回でも申請していただけます。

ようこそ茶摘みイベントへ



子供たちの歓声の中で
ますが釣れる

東白川村ふるさと会第一回の試み
自然を活したふれあい体験



胸のワラビと
お茶の葉どっち
がお目当て?



昼食会場へハイキング

野天で迎えた

四十人の観光客

五月二十九日。前日夜半から降り始めた雨は朝方雷を伴い天候が危ぶまれたものの、夜明けとともにまぶしい程の太陽が顔をのぞかせ、第一回

東白川村ふるさと会「茶摘み体験イベント」が開かれました。

このイベントに参加した人たちは、昨年調査した東白川村出身者の八百七人と東白川の家

問い合せ者百三十四人を対象にふるさと会員の募集を行い、会員の中から参加した九世帯四十人の人たちです。

今回の体験イベントは、ふるさと会の活動の中で最も大切な役割を果たすもので、会員に自然とのふれあいの場を提供し、村は村外からの顧客

を得るといった、観光イベントとしての組立てによって実施されたものです。

まず第一回は、村にある観光資源（水・土・自然・人情）をそのまま生かした、野天で迎えたイベントとなりました。

昼食は一斗罐バーベキュー

午前九時、今回のイベント会場となった下親田小笹地区へと各々の車を連れ出発した。会場では、光をいっぱい浴びた新芽が一行をやさしく迎えてくれ慣れない手つきにもその成果は二十キロ、これは飲み茶に加工して後日届けます。

午前十時三〇分、会場を後にし約六百メートル程県道神土黒

東白川村ふるさと会

スタッフ募集

東白川村ふるさと会は、「情報でふれあうふるさと体験」をキヤッチフレーズに、会員に年四回の村の情報を提供し、会員はその中から選んでふるさと体験をしていただくという主旨のものです。この情報には、イベントの案内をはじめ

川線を歩いて昼食会場（安江寿夫さん前佐広川）へ移動。普段気なしに通る道も、歩いてみると充分な自然探勝が楽しめる。

佐広川では、マス釣りを体験し、一斗罐バーベキューで家族ふれあいの一時を過ごしました。

今回のイベントは、何も施設がないところでの出発で、唯一関係者の手間が支えたイベントと言えます。反省では拠点施設の早期整備が望まれました。



▲外で食べる食事はうまい！
肉と魚を腹いっぱい

め村の特産品の販売、東白川の家などのPR、会員特典の案内などを掲載します。構成員になっていただく方は、こうした情報の提供や、イベントでの商品の販売を希望される方を対象とします。申し込み・お問い合わせ先は、東白川村ふるさと会事務局（役場企画課有線二一五五）までご連絡ください。

■戸籍の窓 五月 敬称略

誕生おめでとうございませす

(平) 安江芳晴 基(二男) 範子

(日向) 安江章吉 可奈子(長女)

(平) 鈴村文隆 明里 結子(二女)

おくやみ申し上げませす

安江易太郎 73歳(黒淵)

島倉 せい 89歳(大明神) いつまでもお幸せに

神間 和也(平)

安江みどり(黒淵)

伊藤 保夫(日向)

頼瀬久仁子(黒川)

奥村 記良(可児市)

安江 るみ(陰地)

今井 晃(金山町)

熊澤めぐみ(大明神)

■善意の寄付 敬称略

【社会福祉指定寄付金】

現金十万円 安江省三(愛知県)・現金五千円 田口きくの(陰地)

【交通安全指定寄付金】

現金七千円 古田かつよ(平)

【役場へ】

竹ぼうき二十本 一寿会(五加)

【東白川小学校へ】

カーネーション造花 母子

寡婦福祉会・竹ぼうき二十本

老人クラブ寿会(五加) 〔東白川中学校へ〕 竹ぼうき十五本 老人クラ

一日の出荷分を 一晩で食いつぶす

この二、三年前からシクマダヌキ・ハクビシンの被害が急増し、園芸農家ではお手上状態となつていきます。

陰地の松岡勝さんが、「ちょっとこの被害を見てくれんか」と指差す先はイチゴ畑。



▲後をたたない被害に深刻な村雲孝平さん（日向）

かようわからんが、よう知つて、イチゴが色むとかたっぱしに食つてしまふ。今年の初物の出荷時なんか、ほとんど出てこなんだから。今でも、ちよつとしたネット防除ぐらいでは破つて入いつて来るし、このままやと昨年の半分ぐらいしか出荷できん」との話し。

日向の村雲孝平さんを訪れてみると、イチゴのハウスが見えない程の二重三重のネットが高く張り巡らされていた。

真夜中のギャング

イチゴ畑を襲う！



▲ヒヨドリもイチゴをねらつてこのとおり

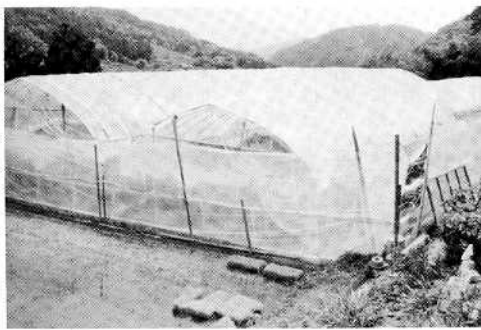
これがシクマダヌキだ

▼松岡勝さん（陰地）



ここでも同じく初出荷のころは一日の出荷分約百十個ほどを一晩で食いつぶしてしまつた。あの手

この手を尽してみたものの、今だに被害が絶えないということ。その後、このギャングのことを調べてみると、その被害はイチゴにとどまらずトウモロコシ、トマト・スイカ等や軒下の干柿や魚にまで及び、その範囲は東白川一円に広がっています。数年前、野生のキツネがタムシ（病名スカジエイ）にかかつて、生息数が大巾に減つたことがありました。この間にシクマダヌキやハクビシンの縄張りが増大し急増したのではないかと推測されていますが、夜行性のこのギャング、何とか防ぐ良い方法は無いものかと、情報をお待ちしております。（情報連絡は役場企画課か農務課へ）



被害のひどさを物語る
二重、三重の防除用ネット

（ん）（ば）（じ）（い）（け）

- ブ寿会（五加）
- 【神土保育園へ】
- 竹ぼうき十本―老人クラブ寿会（五加）
- 【越原保育園へ】
- 竹ぼうき十本―老人クラブ寿会（五加）
- ・絵本十三冊―桂川英記（日向）
- ・絵本二十冊―安江敬吾（陰地）
- 【五加保育園へ】
- 竹ぼうき十本―老人クラブ寿会（五加）
- ・わらぞうり三十一足―今井利一（下野）
- 【その他地域の公共施設へ】
- 竹ぼうき八十三本―老人クラブ寿会（五加）
- 【東白川村ふるさと会へ】
- 現金一万一千五百円―安江富士夫（東京都府中市）
- 工事入札結果の公表
- ①は入札期日 ②は落札金額
- および落札業者
- ◇林業地域総合整備事業
- ▼西洞林業改良工事
- ①五月十八日 ②千七百三万円―丸ノ産業（株）
- ◇林道維持管理事業
- ▼林道区画線設置工事（久須見・大野・小峠）
- ①五月十八日 ②千二百八万円―（株）篠田製作所
- ◇農村総合整備モデル事業
- ▼農道五号改良舗装工事
- ①五月三十日 ②千八百七十七万円―丸登建設（株）

役場の村長室の壁には、歴代村長十人の写真が掲げてあります。

現村長は毎朝登庁してすぐ、この十人の先輩に頭を下げることが日課であり、その日の仕事の始りとなっています。

東白川村が生れて来年でちょうど百年、激動の村政を支えて来た歴代村長に敬意を捧げつつ村のルーツを探ってみましょう。

二百七十年の苗木藩が終りを告げる

明治維新まで、現在の東白川村の範囲は苗木藩の領地でした。苗木藩は、木曾川から北の恵那郡一帯（坂下、苗木、蛭川、飯地、中野方、福岡、など）と白川、黒川、佐見川、赤河に沿った現在の加茂郡東部が支配地であり、苗木遠山氏は二百七十年にわたってこの範囲を治めたと言われ、同じ家系の大名の支配をこれだけ長期にわたって受けた地域は、県内にはほかに無く、全国でも珍しい例となっています。

この中に、神土村、越原村、柏本村、久須見村、宮代村、大沢村、下野村、がありました。このうち神土村と越原村には庄屋が置かれ、柏本ほかの小さな

歴史の証言・立村百年の記録（第三話）



初代村長 神戸弥助 氏

な五か村にはこれをひとまとめにした兼帯庄屋が置かれたと村誌に記されています。

苗木藩は徹底した廃仏毀釈を行ったことで良く知られていますが、明治二年、全国の大名家の先頭に立って朝廷に対して、藩として領地を納めることを止め、すべてを朝廷に差し出すという「版籍奉還」をしました。

この動きはたちまち日本全国に広がり、長い歴史の封建政治に終止符が打たれ、新しい地方行政の出発点となりました。

東白川村誕生時の人口は現在とほぼ同じだった！

旧藩制は改革されたとは言えその管轄区域はいぜんとして昔のまま、村のかたちもそのまま残されていましたが、明治七年八月、柏本、宮代、大沢、下野、久須見、の五か村が合併して「五加村」が生まれました。

こうして、現在の町村制が始まるまで十五年間、神土、越原五加、の三か村時代が続きました。

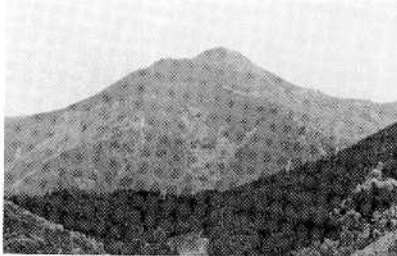
明治二十一年四月、法律第一号として公布された「市制、町村制」は、市および町村を基礎的な地方自治体と認めたもので権力者に治められる……という

型態から、住民が自分で治めるという、日本の歴史の中で画期的な改革がなされたわけですね。

こうして明治二十二年七月一日、神土、越原、五加の三か村が合併し、現在の東白川村が誕生しました。

この時の世帯数は六百十四戸人口は三千五百五十一人、一世帯あたりの世帯員数五・八人と記録に残っています。

明治、大正、昭和と、文字どおり激動の中を生き抜いて来た東白川村の歴史の中で、村民が



山陽気寒す下見村を姿ぬら変紀一
村有林として村の財政を支えた

大きく揺れ動いた出来事がありました。

それは昭和二十八年に施行された「町村合併促進法」による町村合併問題であります。

この時、岐阜県が策定した合併計画は、白川町を中心として

蘇原村、黒川村、東白川村、佐見村、それに武儀郡坂の東村を加えた六か村合併というもので、この合併案に対しては村当局も村民の皆さんも、「あまりにも広い範囲でそれぞれ山にさえぎられ交通も不便である」という理由で、なんら積極的な意志を示すに至りませんでした。

ところが、法律の期限切れが迫った昭和三十一年に入ってから、県からの強い働きかけを受けて、各村とも合併の積極的な研究、協議が繰返され、私たちの村でも、連日この問題で沸き返るようになりました。

しかし、大勢は反対の声が大きく、中でも神土、越原から全戸の署名を集めた合併反対陳情書が出されるなど、反対の気運がみなぎり、当時の岐阜県知事武藤嘉門からの合併勧告を押し切って、遂に合併反対を貫いたのでした。

それからすでに三十年を過ぎ、この間、東白川村は規模の大きい合併町村に負けない発展を遂げ今日に至りました。

来年はいよいよ村が生れてから満百年の年です。過ぎ去った一世紀を振り返りながら、新しいスタート台に登ろうとしています。

話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。

連絡先 商工広報係 有線2155番



東白川村商工会婦人部では、今年も花いっぱい運動を行うことになっていましたが、五月二十六日に会員の手によって、マリーゴールド、ペコニヤなど四種

未来博コンパニオンに 早瀬豊子さん(中通)選ばれる



1658人の
応募の中から選ばれた
134人、みごと栄冠の早瀬さん。



晴れの叙勲記念にと寄付金を

陰地の安江進吾さんの叔父さんにあたる安江省三さん(愛知県日進町在住)は三十四年間の国鉄勤務の功で、この春勲六等瑞宝章を受けられました。その記念に社会福祉へと村へ十万円をご寄付いただきました。



あなたの心にも咲かせたい花一輪

類の苗を植え付け、郵便局、病院、など村内九か所の施設へ五十六鉢を配りました。

この事業は昭和五十六年から続けられていますが、特に今年度は、現在進められている「おんさい東白川運動」の一環として老人クラブへも呼びかけ、共同

作業で県道沿いを花でかざるフラワーロード作りも計画しています。

会長の今井真子さん(平)は「私達の活動はささやかですが花の輪が村内いっぱいになるように広がりますようご協力をお願いします」と語っています。

竹ぼうきで村を美しく

老人クラブからの贈りもの

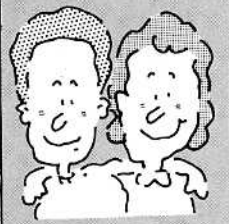
老人クラブ寿会(会長安江奎一さん)は毎年竹ぼうき作りで社会奉仕をされていますが今年も百六十八本の竹ぼうきを作り、村内の保育園などの公共施設に贈りました。
竹は前年の十一月に切って葉干しをしたもので、五月三日、三十人の会員が五加センター横の広場に集って、あざやかな手つきで仕上げていきました。
このぼうきを贈られた小中学校では、掃除になくてはならない道具だけに大喜びで、寿会へお礼の手紙が寄せられているということです。

雨の中、白川高校で植樹の手入れ

五月十五日、白川高校東白川保護者会員二十五名が参加して昨年植えたモミジ、サツキなどの手入れをしました。



おしらせ



男女雇用機会均等月間

未来博から ふたつのプレゼント

あなたは、未来博88からのすばらしいプレゼントを手にするチャンスをお忘れいませんか？
未来博88の前売り入場券とパスポート（数次遊券帳）についている「お楽しみ抽選券」を切り取り、早速応募して下さい。
ほかの博覧会には無いソウルオリンピックやハワイ、サイパンなどの海外旅行をはじめ、五千本のステキなプレゼントがあるのを待っています。応募締め切りは七月十六日です。

〔応募方法〕官製はがきにお申し込み抽選券をはり、郵便番号・住所・氏名・年齢・職業を明記（はがき一枚に抽選券一枚）
〔応募先〕〒500-9191 岐阜中央郵便局私書箱十八号 ぎふ中部未来博覧会協会
次のプレゼントは福祉関係のもので県では県民総参加の未来博に在宅の寝たきり老人などを介護しているかたを招待し、日頃の労苦を慰労する事業を実施

します。

〔招待者〕在宅寝たきり老人、痴呆性老人および常時介護を要する重度障害者（児）の主たる介護者

〔招待日〕未来博開催期間中
〔招待内容〕介護者の未来博入場料、昼食代および記念品代を補助します。介護者が未来博を観光する間は、その家族等で寝たきり老人などを介護していただくの原則とします。ただし、代わって介護するかたのいない場合は老人ホームなどで短期介護しますが、その経費も補助します。

〔照会先〕東白川村役場民生課

六月は 土砂災害防止月間

今年も間もなく梅雨期に入ります。この時期には、長雨や集中豪雨により、土石流、がけ崩れなどの土砂災害が起きやすくなります。

これらの災害は、一瞬の間に尊い命や貴重な財産を奪い去り道路や公共施設を破壊して甚大な被害を与えます。

な被害を与えます。

自分だけは大丈夫などと思わずに、いま一度、住んでいる地域に危険箇所はないか確かめてみましょう。また、避難場所はどこか、市町村の住民に対する連絡体制はどのようになっているかを平素から知って、万が一の場合に備えましょう。

危険箇所や避難場所については、役場に資料がありますのでお問い合わせください。

三日里親に なって下さい

岐阜県里親連合会では、県内の養護施設に入所している児童を、夏休みに一般家庭で三日間預ってもらい、児童に温かい家庭の味を体験させるため、県の委託をうけて、三日里親を募集しています。

ボランティア精神で引受けて下さる人は無いでしょうか。

○児童を預かる期間
八月二十日から八月二十二日まで

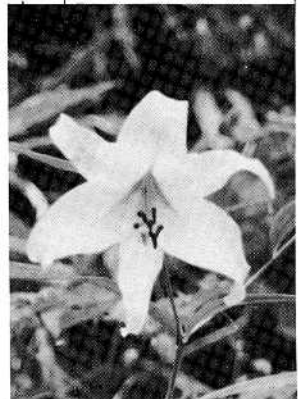
○申し込みの方法
三日里親を希望される方は、役場住民係に申し込み用紙がありしますので所要事項を記入して提出して下さい。

○申し込みの期間
七月一日から七月十五日まで

大切にしたい

ササユリ

平・伊藤重雄



ちょうど一年前の広報六月号の「ふるさとの花」の欄にのっていた、ササユリのことについて、お願いしたいことがあります。

ササユリは純日本の花で、本州中部地方より西、四国、九州の山地に生えるユリ科ユリ属の多年草ですが、他の百合と違って、球根で増えずに種が落ちて育ちます。

また、環境の変化や病気に弱く、人工栽培は業界でも無理とされています。

それを岡崎のある中学校の先生が九年間もかけて、一応成功された例を新聞で読んですばらしいことだと感激しました。

花が咲くまで

六・七年

園芸家の話によると種を蒔いて二年目に細い芽が出て六年か七年しないと花が咲か

ないそうです。

発芽率が低く、種を蒔くにも、手の油が着いたりすると発芽が悪く、特にタバコはいけないといわれ、病気になるやすく、失敗が多いそうです。最近では他の百合と交配して栽培しやすくなったものを、ほぼつ売り出しているとか。

根こそぎ折れば

花が減ります

花の咲いている時期がササユリにとって一番大切なときです。

やたら折ったり、掘り取ったりすると翌年は花が少なくなってしまいます。

ササユリの咲く場所を大切に手入れをし、第二の村の花として、あの可愛い姿、色、香りのすばらしさを、いつまでも伝え残したいと思います。

今月の図書



孤独のとなり 三浦綾子著

孤独は単に淋しいなどというものではない。13年間の長い闘病生活の中で恋人を同じ病いで喪い暗い孤独な日々をくぐり抜けてきた著者が、今広い愛の心で綴る珠玉の最新エッセイ。恋愛、結婚について、他人への思いやり、人間の生きがい等を語りつつ、限りない愛と明日への希望を、読む人の心に語りかけてくれます。

太陽の子 灰谷健次郎著

難病に苦しむ父を持つふうちゃん。3人の生活を支えるために働く母。そんな生活の中で太陽のように明るく生きる子ふうちゃん！しかし、お父さんの眼の光は永遠に消えた。ふうちゃんは「お父さんは死んでなんかいない！」と叫びながら泣いた。純真な心を持つふうちゃんの生きる姿に感動をおぼえずにはいられません。

テイカカズラ (定家葛)

テイカカズラは、本州から九州、そして朝鮮に分布し、山野に自生するキョウチクトウ科テイカカズラ属の常緑蔓性植物です。東白川村でも岩や古木にからみついているのをよく見かけます。古くから庭木や盆栽としても仕立てられています。茎は長く伸び、気根を出して他の樹木や岩にはい上がり、その長



さは一〇メートルにもなります。茎に傷をつけると乳液が出ます。葉は長さ三〜六センチ、葉面は光沢があり、革質でやや厚く夏に紅葉することがあります。花は初夏に咲き、芳香のある白い小花を葉腋や枝の端につけます。この花は時が経つに従って、だんだん淡黄色に変わりまじれ、花弁は五裂し、風車状に開きます。果実はさや状で、長さ一五〜一八センチになります。和名は、平安時代末期から鎌倉時代初期の歌人藤原定家(一一六二〜一二四一)にちなむもので、謡曲『定家』に、定家の恋の妄執からこの植物が式子内親王の墓にまつわり生え、共に死後も苦しんだと伝えられています。



古くは正木の葛または柵の葛といいました。「古今集」巻十に「深山にはあられ降るらし外山なるまさきのかづら色づきにけり」とあり、「新古今集」の冬に「神無月時雨降るらし佐保山のまさきのかづら色まさりゆく」とあります。初夏に花咲く「まさきのかづら」は秋の季語になっていますが、古歌に「色づく」と詠まれているところからきているそうです。

郷土に眠る名水・名勝・名木を求めて その3

ひと回りで麦飯が炊けた！

大沢の巨大石

亀岩

五加大沢に、ロック・クライミング(登山の岩登り)が楽しめる岩があると聞き、どんな岩かとさっそく調べてみることにした。

大沢は、東白川でも特に岩の多い所で、大小さまざまな岩があら

こちらに見られ、中でもこの岩は大沢一の大

きさを誇り遙か山頂に眺める姿が

亀に似ているところから、亀岩と呼ばれ古く人々に親しまれてきた。

さっそくこの岩にまつわる話を聞こうと出掛けたところ、茶刈りをしてみえた今井理造さんに出会い話しをうかがうことにした。

「わしも亀岩によく登ったもんじゃが、そりや大きいなんでもんやない。高さは二十メートルぐらいはあるうか、今じゃ木が生えて裾の方は見え



大沢林道から亀山を望む

は「岩ゴケは塩風に当たるところに生えとつての、この辺では亀岩しか生えん。昔は必ず祝事に採って使ったもんじゃ」と、今でも生える高価な岩ゴケや、

岩登りを楽しむことのできる亀岩と裾神様を組み合せ、人々が訪れる大沢にできたらと、亀岩に託す夢を語っていただきました。

岩登りを楽しむことのできる亀岩と裾神様を組み合せ、人々が訪れる大沢にできたらと、亀岩に託す夢を語っていただきました。

岩登りを楽しむことのできる亀岩と裾神様を組み合せ、人々が訪れる大沢にできたらと、亀岩に託す夢を語っていただきました。

岩登りを楽しむことのできる亀岩と裾神様を組み合せ、人々が訪れる大沢にできたらと、亀岩に託す夢を語っていただきました。

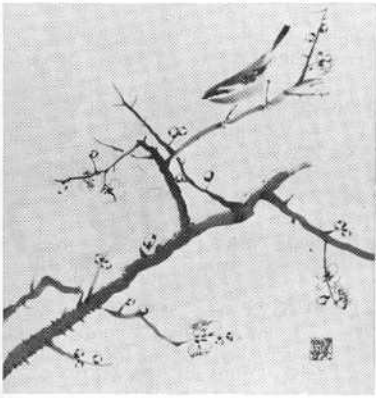


今井理造さん (大沢)

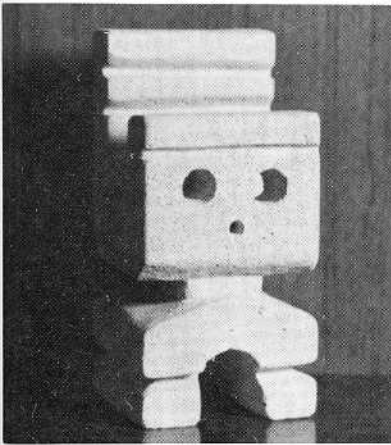


今井兼一さん (大沢)

私の作品



▲水墨画 梅にウグイス 古田芳一さん(平)



▲Jのイメージ 東白川中学2年 桂川亮君(平)



樋口桂ちゃん(二歳)加舎尾
章久さん・恵さん長女

すくすく育て



►絵を書く友だち
(クロッキー)
東白川小学校
六年一組 田口房国
(陰地)

歌心



あなたの作品
をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

- お茶の芽伸び一肥多くやり居しが今朝の霜にて焦げしくやしき 古田五保子
- 黄砂晴れて青空ひろがる春の日を一日ひびけり耕転機の音は 三戸 きり
- 大型農機で忽ち田植は終りたり畦に見て居る時勢の移りを 田口 巽午
- 忘れ難き愛しみもちし峽畑に腹を定めて植樹始むる 安江 香
- 強風に揺らぐハウスの内に居てトマトの手入れに気もそぞろなり 安江 幸
- 働きて心通ひし軽四輪の廃車となる日ぞ撫でて別れる 安江嘉久一
- 山藤のまつわりて咲く樹々の奥松蟬鳴きて季移りゆく 今井 かな
- 幾部落沈みシグムの道の辺にふる里偲ぶ碑あまた 古田よし江
- 真盛りの躑躅の色の鮮やけさ参賀に急ぐお塚の側へに 安江 澄
- 手に軽き豆鎌何処かに置き忘れ老いつのりゆく今の佗しき 村雲 うめ
- 浴室の窓のすき間に鶺鴒が巣づくり始む季節となりぬ 安江 龍玉
- 弱ければ雑草などと言はれまじその強き根を引きつつ思ふ 小池 弘子
- 校庭の桜吹雪の舞ふ下にゲートボールの練習を励む 安江すみよ
- グラウンドのテニスコートにたたずみて青葉若葉の山の気に酔ふ 安江 守平
- 清々と朝の一時書を読み「さあ行くぞ」とてブーツを履けり 今井 弘恵
- 受賞せし蔵出しの銘酒買ひ戻り命日なればみ霊やに供ふ 安江 節子
- 広き池に十ミリの鯉の新入生みじんこを追ひてたわむれ遊ぶ 早瀬 久子
- 庭隅にみ冬を越せしこでまりの鉢植咲きぬ白く枝垂れて 田口 一枝
- 経木帽風に飛ばされ舞ひゆけど足痛吾は追ふすべもなし 早瀬 勇造
- 白も杵も納屋に片付け残りたる吾も明治のぼろぼろ道具か 田口 良三